

古文 読解問題 「宇治拾遺物語」 伴大納言のこと ①

これも今は昔、伴大納言善男は佐渡の国の郡司がア従者なり。かの国にて善男、夢に見るやう、西大寺と東大寺とを跨げて立ちたりと見て、妻の女にこの由を語る。妻の曰く、「そこの股こそ、^①裂かれんずらめ」と合はするに、善男驚きて、「^②よしなき事を語りてけるかな」と恐れ思ひて、主の郡司が家へ行き向ふところに、郡司、極めたる相人なりけるが、日ごろはさもせぬに、殊の外に饗応して、^ウ円座取り出で、向かひて召しのぼせければ、善男あやしみをなして、「我をすかしのぼせて、^③妻のいひつるやうに股など裂かんずるやらん」と恐れ思ふ程に、郡司が曰く、「汝、やんごとなき高相の夢見てけり。それに、よしなき人に語りてけり。必ず大位には至るとも、こと出で来て罪をかぶらんぞ」と言ふ。

しかる間、善男、縁につきて京上りして、大納言に至る。されども、猶罪をかうぶる。郡司が言葉に違はず。

問一・次の文は「宇治拾遺物語」について説明したものである。空欄に入る言葉を答えなさい。

「宇治拾遺物語」は（ア）時代初期に書かれた（イ）文学（集）である。作者は不詳で、『宇治大納言物語』に入らなかつた（イ）がまとめられたものだとされている。後世にも影響を与え、（ウ）が書いた「鼻」は「鼻長き僧の事」から着想を得たとされている。

問二・傍線部ア～ウの古語の読み方を答えなさい。また、アとイは文中での意味も答えなさい。

問三・傍線部①「裂かれんずらめ」の文法的説明として適切なものを次の選択肢から選びなさい。

- ア. 力行四段活用動詞 + 尊敬の助動詞 + 推量の助動詞 + 現在推量の助動詞
- イ. 力行四段活用動詞 + 受身の助動詞 + 推量の助動詞 + 現在推量の助動詞
- ウ. 力行四段活用動詞 + 尊敬の助動詞 + 意志の助動詞 + 打消の助動詞 + 現在推量の助動詞
- エ. 力行四段活用動詞 + 受身の助動詞 + 意志の助動詞 + 現在推量の助動詞

問四・傍線部②「よしなき事」の説明として最も適切なものを次のの中から選びなさい。

- ア. 夢の内容があまりにも立派で、かえつて不安に感じられるようなものであつたこと
- イ. 夢の話をしたことによつて、主君である郡司に疑いをもたれるような結果を招いてしまつたこと
- ウ. 夢の内容そのものが作り話のようで、取るに足らない無意味なものであつたこと
- エ. 本来は他人に軽々しく語るべきでない夢を、深く考えずに妻に打ち明けてしまつたこと

問五・傍線部③「妻のいひつるやうに股など裂かんずるやらん」を現代語訳しなさい。

読解問題「宇治拾遺物語」伴大納言のことと ① 解答・解説

問一・ア 鎌倉 イ 説話 ウ 芥川龍之介

：「絵仏師良秀」も芥川龍之介の「地獄変」のモデルになつたと言われている。

問二・ア 読み方..ずさ・ずんさ 意味..家来・お供・部下

イ 読み方..そうにん 意味..人相を見る人・占い師

ウ 読み方..わらふだ

問三・イ

問四・エ

問五・妻が言つたように股などを裂こうとするのだろうか